



## 厚高インフォ

Vol.277

学校の取り組みは  
ホームページでも！



### ▼家庭クラブが優秀賞(10月18日)

第71回北海道高等学校家庭クラブ連盟研究大会で、本校の家庭クラブが優秀賞を受賞しました。「みんなでサポーター！～支え合う社会のために～」と題し、手話の実践や災害時における要支援者のサポートなど、福祉の授業を通して行われたことが評価されました。

### ▼厚真人インタビュー(11月4日、10日)

公営塾「よりみち学舎」主催の「厚真人インタビュープログラム」が開始されました。今年度は、町の職員や地域おこし協力隊へのインタビューを通じて、勤労観や就労観を学びとることのできる職業体験、インターンシップをより深い学びにつなげます。「厚真人カ-



家庭クラブ



厚真人インタビュー



セーフティーコールあつま

ド」を作り、インタビューを介して見つけたことや考えたことを記録します。

### ▼1年生がセーフティーコールあつまに参加(11月11日)

1年生が参加して、厚真市街地で町民と一緒に「冬の交通安全」の啓発活動を行いました。道路沿いに並び、大きな旗を掲げたり手旗を振って、ドライバーに安全運転をアピールしました。特に、冬の時期は路面状況が悪化します。歩行や車の運転には十分に気をつけましょう。

### ▼2年生の進路ガイダンス(11月17日)

株式会社リクルートの坪山さんを講師に招き、2年生対象の進路ガイダンスを開きました。演題は「未来に向けて今できること」。これからの進路選択をどのように考えるのかを知り、生徒自身に自ら考え行動してもらうことで、来年度の進路決定につなげたいと考えています。

### 「苦手」は「嫌い」？

「よりみち学舎」に通う厚高生の中には、中学校時代に文科系の部活動に所属していた生徒もいます。「運動が苦手だから」という理由で部活動を選んだ生徒も少なくありません。公営塾の生徒を見ていると、一概に「運動が苦手＝嫌い」ではないようです。苦手意識について考えました。

厚真高校では、体育大会や屋内体育大会など、年4回の体育行事の中でバレーボール競技が2回行われます。このため、放課後になると学校の体育館やスポーツセンターでバレーボールを練習する生徒も多く、私たちと一緒に汗を流すことがあります。「ミスばかりしてしまうから」や「サーブだけでも入るようにしたい」と、当初は消極的な理由で練習していました。しかし、最近では、「サーブを上から打ちたい」とか「上手になっていくことが楽しい」など、上達したいという積極的な理由へと変わっています。

運動に限らず、人にはそれぞれ得手不得手があり、上達するスピードは異なります。嫌いではないけど、苦手だという意識でチャレンジを足踏みする生徒も少なくありません。

「よりみち学舎」では、生徒それぞれのペースと個性に合わせて苦手なことを得意に、得意なことはより得意になるようにしたいと考えています。教育魅力化支援員は、生徒に向き合い新たなチャレンジ精神が芽生えるようにサポートします。

教育魅力化支援員 山中卓也



町民と一緒にバレーボールの練習に汗を流す厚高生

## よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。